

# 平成28年度 教育懇談会

～ご質問・ご意見 要旨一覧～

平成28年11月14日から30日まで、市内6会場で「教育懇談会」を開催しました。教育長と教育委員が地域にお伺いし、市民の皆さんと教育に関して懇談を行いました。第1部では、「地域ぐるみで子どもを応援する取組み」というテーマで意見交換し、地域でさまざまな活動をされている方から取組み内容の発表もいただきました。第2部では、皆さんの教育に関する想いや日ごろ感じていることなど、幅広いご意見をお聴きすることができました。多くのご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。今後の教育行政の参考とさせていただきます。



川西農業者研修センター  
(H28.11.25)



啓北コミュニティセンター  
(H28.11.30)

## 開催日程・参加者数

| 開催日       | 開始時間  | 開催場所            | 参加者数 |
|-----------|-------|-----------------|------|
| 11月14日(月) | 19:00 | つつじが丘小学校        | 17名  |
| 11月18日(金) | 19:00 | 大正農業者トレーニングセンター | 12名  |
| 11月21日(月) | 19:00 | 豊成小学校           | 14名  |
| 11月25日(金) | 19:00 | 川西農業者研修センター     | 21名  |
| 11月27日(日) | 10:30 | 帯広市図書館          | 11名  |
| 11月30日(水) | 19:00 | 啓北コミュニティセンター    | 26名  |
| 合計        |       |                 | 101名 |

お問合せ先 帯広市教育委員会 学校教育部 企画総務課 電話65-4201

# 平成28年度教育懇談会

## 第1部 「地域ぐるみで子どもを応援する取組み」に関する意見交換

### ご質問・ご意見 要旨一覧

※いただいたご質問・ご意見に、総括して回答しているところがあります。

#### 会場: つつじが丘小学校

| 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等   |
|--|---|
| <p>つつじっ子クラブは年間100回くらい季節や行事に合わせて放課後居場所づくりの活動を実施している。夏祭りについては、当初つつじっ子だけで行っていたが、13町内会、生涯学習推進委員会などに輪が広がり、今年は学童、民生委員、PTAなど、いろいろな団体に働きかけて行った。資金面が保障されているわけではないので、今年から参加費を集め、バザーも行った。120人くらいの子どもの参加し、浴衣などにぎやかな装いで盆踊りをした。12店舗出店して盛大なお祭りだったが、事前の念入りな打合せが必要だということがわかったほか、今後どうやって規模を維持していくかが課題。地域の取組みは、たくさんのご意見をいっぺんにはできないが、一つ一つ積み上げていけたらいいと思う。</p> <p>子どもたちは衣装も楽しみにしていて、自分達で考えて作ったり、子どもたちからバザーを開いてほしいという声があったり、お祭りに対する意識や楽しみ方が変わってきた。</p> <p>夏祭りには、地域の13町内会からの寄附金と市からの交付金を用いて実施した。</p> | <p>これまで自分達で独自に夏祭りをされていたが、今年は違う団体等とも手を携えてされている。市からの交付金は、横のつながりを強くしながら、子どもたちの健やかな成長を目的としている。</p>  |
| <p>短大教員として、社会教育主事を養成する仕事をしている。教育委員会と協定を結び、実習の場を提供してもらっており、学生が小学校の居場所づくり事業の活動に参加している。学生には子どもと遊ぶのではなく、学校で地域ボランティアの方が子どもを育成している姿を見に行くように指導している。実習のたび学生が成長していくのを感じ、学校・家庭・地域の連携事業は、一緒に活動しながら教えていただくことのできる非常にありがたい場だと考えている。何か新しい要素を加えながら展開していくと、より効果的な事業になるのではないかな。</p>  | <p>学校・家庭・地域の連携によって意図的に場を作らないと難しい時代になり、お互いに良い点を持ち合い、相乗効果が出ることを期待している。</p>  |
| <p>小学校で見守り活動をしている。子どもたちのためにという気持ちと健康・楽しみでもある。中学校では朝読書活動や挨拶運動に携わっている。</p>   | <p>本離れしている子どもが読み聞かせによって、本に興味を持ってくれたらと思う。本を読むことは、学問やいろいろなことへの入口を提供することになる。自分の中に空想の世界を持つことで、何かを乗り越えるパワーにもつながると思う。子どもも次第に集中して話を聞くようになり、図書ボランティアのこれまでの活動が実を結んでいると感じている。</p> |
| <p>長年のボランティア活動には本当に頭が下がる思い。一つ一つのボランティアで終わらず、それぞれ連携を図りながらされている。</p>   | <p>学校で教わった知識を連携という場で知恵に変えるということが、連携のあり方と思う。大人の動きを見ながら自分のあり方を見つけていく。</p>   |
| <p>ボランティア活動を大変だと思ったことはなく、いろいろな人に声をかけると同じ思いの人がたくさんいて、賛同者がいるとできる。普段の付き合いがすごく大事。地域の人も日頃の活動を見ていて、快く賛同してくれる。人と人との横のつながりが大事と感じる。</p>   |   |
| <p>地域防災訓練において、地域の人が集まり、ともに活動することは、地域づくりの一つになると思う。社会教育主事の役目は人づくりと地域づくりと学生に指導しているが、子どもを楽しく遊ばせるだけではなく、地域づくりも行っていくことが目的と考える。</p>   | <p>お年寄り・障害者を地域全体でみていく社会が望ましい。子どもたちという視点で、各団体がお互いにつながるのいいと思う。</p>  |
| <p>子どもたちの体力が衰えていることを懸念している。学力面や精神面にも影響を及ぼすだろうし、学校・地域・家庭が連携して取り組む必要があると思う。以前から課題としてあるが、なかなか話が盛り上がらない。</p>   | <p>(ご意見のみ)</p>  |

#### 会場: 大正農業者トレーニングセンター

| 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等  |
|---|--|
| <p>親が畑の先生という立場で、子どもたちと触れ合うことは親にとってもいい経験だ。</p>                                   |  |
| <p>PTAとしてスケートリンク造成をしている。大変な作業だが、交流の場としていい面もある。農園活動は、いもやかぼちゃを栽培するという、いい取組みだ。</p> | <p>農園で全校生徒と保護者が農作業している姿がほほえましく感じ、同時に大事な教育と感じた。</p> |
| <p>保護者の方が学校に対し協力的・好意的な方が多く助かる。</p>  |  |
| <p>保護者が協力的と言われ、うれしい。この地域で育ったので、違和感はない。一方で、市街地の学校と比べ金銭的に厳しい状況。</p>               |  |
| <p>近隣の学校での三校交流会があり、保護者と交流ができてよい。</p>  | <p>(ご意見のみ)</p>                                     |

| 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等                               |
|---|---|
| 自分たちの親がしてきたことを、自分が親になって受け継いでいることに誇りを感じる。地域ボランティアの方が協力的で、子どもたちが安全に通学できている。中学校の部活動では30人以上が全国大会に出場するので、金銭的な問題が大きく、支援をお願いする。    | 親の姿を見て、自分もPTA活動をするには、よい環境だ。               |
| 大正小学校も愛国小学校も、校舎は年数の割にはきれいだが、そろそろ施設整備の面から厳しいと感じる。  | (ご意見のみ)                                   |
| 親が畑の先生として、子どもと一緒に作物の管理をしている。収穫した作物は学校で食べ、各家庭にも配布した。学校で植え付け・管理し、自分達で販売するので、いい経験だ。農作業は広い面積なので、最初に親が機械である程度残して作業し、子どもたちは手作業する。 |   |
| 学校で収穫した枝豆を調理し、家でも学校で教わった調理法で作ってくれた。   |   |
| 他の学校での取組みなど、ホームページで情報提供してほしい。PTA活動の中で親と子どもと一緒に活動することが多いので、素晴らしい。  | 働いている姿、教育している姿を近くで見ることができることは、ここならではの良さだ。 |
| 大正地区は父親が率先してPTA活動に参加して、リンク造成や環境整備している。お祭りのものではなく、堅実な活動が多い。  | (ご意見のみ)                                   |

### 会場：豊成小学校

| 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等   |
|--|---|
| 豊成小学校きかんクラブは、今年はこちらも学校応援地域基金プロジェクトの予算をいただき、夏にミニ縁日、秋に豊成子ども祭を行った。ミニ縁日はおやじの会と共同で開催し、当初は水風船当て遊びだけの予定だったが、市からの交付金を活用してヨーヨー釣やくじびきなどの縁日も行うことができた。子どもが楽しんでくれたことだけでなく、一緒に参加した保護者に自分達の活動を見てもらえたり、他のボランティアの顔が見えたこともよかった。今後はお互いの事前打合せや準備も充分行いたい。子ども祭は、青少年育成者連絡協議会やおやじの会と連携協力して開催し、761名の子どもたちが参加した。今回は、ジバサンダー、読み聞かせサークル「ぞろりクラブ」も新たに加わり、けん玉遊びコーナーやお話会などを開いた。他のボランティア団体との情報交換したり課題発見するため、ボランティア団体の交流機会が必要だと感じる。 |   |
| 見守り活動のボランティアさんの名前や顔をお父さん方は知らないということが多く。運動会の駐車場の警備について、PTA役員とボランティアさんで合同会議を行った。人数が多いと縦割りの活動になりがちだが、横のつながりが大事だ。この地域は長年住んでる方と新しく越してきた方がいて、なかなか交流も難しいことから、お互いの触れ合いの機会やつながりが必要と感じる。   | 核家族化が進み、地域での交流が難しい時代で、意図的にお互いにつながるが大切だ。行政側の押し付けではなく、地域の方が中心となって、お互い補い合って活動していただきたい。   |
| PTA役員になり、子どもに声をかけられたりすることが多くなった。これまで町内会活動に無関心だったが、次第に関心を持つようになり、町内会活動に参加することで、地域の方や保護者と知り合いになり、自分の幅が広がったと感じる。子どもや親、地域の高齢者とつながることで、地域連携が広がれば、地域もよくなると思う。  |   |
| きかんクラブの託児ボランティア活動で、保護者や先生と交流の機会を持つことができ、安心できる。町内会活動では、豊成小学校だけでなく川西小学校の方とも関わりが持て、今後も楽しみながら活動したい。  |   |
| きかんクラブに子どもがお世話になり、本当にありがたい。自分が子どもだった頃は、町内会には声をかけてくれたり面倒をみてるおじさんがいたが、今は顔が見えないつきあいが増えている。顔が見えるつきあいが増えるように、一緒に活動しようと声をかけ、きっかけをつくるのが大事で、そういう地域は犯罪なども抑止できると感じる。そういう地域が増えると帯広市もいい街になると思うので、今後も積極的に参加したい。   |   |
| 親も子ども忙しく町内会活動になかなか参加してもらえず、町内会のつながりがなくなってきている。町内会の加入率も低下しているので、連合町内会で話し合うといいと思う。   | 幼稚園の行事に半強制的に参加したことで、保護者とのつきあいができ、自分が変わったという経験がある。町内会加入率が低下している中、おやじの会は、子どもだけでなく父親にとっても、自分の幅が広がり、知り合いが増え、いろいろな輪が広がるという意味で、大事な組織になると思う。行きにくい、面倒という部分をどうクリアするかが課題だ。異世代交流も大事で、老人と子どものかかわりは大切。親同士が仲がよければ子ども同士も仲良くなり、そういう地域はよくなっていくと思う。 |

| 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等   |
|---|---|
| 子どもたちの顔を見て、時には一緒に歩いて、子どもたちが元気かどうかみながら、見守り活動をしている。毎日来る子が来ないと心配になることもある。子どもの自発的な行動が昔より少なくなり、そういうことが人とのつきあいを難しくしていると感じる。<br>子ども会の人数が極端に少ない町内会では、夏休みのラジオ体操がないので、他の町内会と合同で行えたら、皆参加できるのにと考えている。               |   |
| 交通安全ボランティアを行っており、交差点が危ないので、地域内を行ったり来たりしながら見守りしている。子どもから声をかけられることにより元気をもらい、それを励みにしている。   | 子どもが小学校1年生の頃は、通学が非常に心配だったが、見守りの方のおかげで送り出せている。自分の子どもの頃を思い出すと、お祭や行事の時に近所の人と触れ合うことが多く楽しかった。今後も町内会に積極的に入り、近所の人を知ること大事と思う。 |
| 子どもたちは心配してくれる人がいるだけで元気になれる。学校は特殊な世界で、先生と子どもという縦と横の関係、子ども同士の横の関係があるが、人間性を豊かにするためには、斜めの関係が必要と思う。特に人生経験豊かな高齢者の方、キャリア教育など。子どもたちも20年もたつと地域の担い手になることから、どんな考え方や生き方を身に付けるかが大事だ。地域づくりは人づくりであり、行政も一緒によい環境を作りましょう。 | (ご意見のみ)   |

### 会場：川西農業者研修センター

| 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等   |
|---|---|
| 畑の先生として子どもたちに長いもの授業を行った。種植え、草取り、管理作業に収穫という、普段できない経験は、子どもたちにとってもいい試みだし、自分にとっても勉強になった。  | (ご意見のみ)   |
| 清川小学校内の地域交流館を借りて、社会福祉協議会の高齢者が地域交流サロンを月2回開催している。約20人、80歳前後の方で、小学校の子どもたちに農作業を教えて一緒にピザを作って食べたり、昔遊び交流などをした。戦中の食料不足に苦労した話などをすると、真剣になって聞いてくれ、心に伝わる教え方をしなければと思う。<br>わかば会という高齢者の自主学習団体で、自主的に高齢者の慰問をしたり、講演を聴いて勉強したりしている。子どもと接する機会がないので、どうにかならないだろうか？ | 地域のよさを非常に感じる。高齢者と触れ合う、経験していないことを体験するなど、すごいいいことだ。<br>わかば会の活動は自主的な活動であるが、教育委員会に相談いただければ、アドバイスすることもできる。  |
| 自分が子どもの頃は、食べ物の尊さを自然と伝えられていたが、今の子どもを見ると、食べ物を残すことにそれほど罪悪感がなく、本当の意味の食育を考えなければならぬと感じる。  |   |
| 川西中学校では、いじめのない学校にしようということで、1～3年まで縦割り給食を食べる全校給食の取組みを年4回行っており、子どもたちは楽しくすごしている様子である。<br>PTA活動としては、アイスホッケーリンク造りや校舎周辺の枝払いなどの環境整備を行っている。  | 帯広でも農作業経験がない子どもたちがほとんどなので、すごいことをしている地域だと関心している。<br>食育については、命をいただくという感謝の思いを、小さな頃から感性として身に付けることが大事で、他者を思いやる心にも通じると思う。<br>子どもたちのために大人が本気で取り組んでいることは、子どもにとって幸せなことだと思う。<br>異世代、高齢者と交流することで、自分は知らない戦時中の暮らしなどを知ることができたり、ものすごく大事な話を聞かせてもらったと思う。 |
| 日高えりも町の笛前小学校と交流学習を行っており、地域の皆さんの協力により海と山の体験学習を伝統的にやっている。   | (ご意見のみ)   |

### 会場：図書館

| 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等  |
|---|--|
| よんかけサポーターズクラブでは、こども学校応援地域基金プロジェクトの交付金を使わせていただいた。<br>緑丘小学校地区では、「目をかけよ」「手をかけよ」「心をかけよ」「声をかけよ」という「よんかけ」という言葉が、40年前から子育ての基本理念として浸透している。<br>保護者が忙しくなり、保護者の力だけでは事業ができないことがあり、平成19年に「よんかけサポーターズクラブ」を立ち上げた。まずはPTAを巻き込み、その後地域の方、生涯学習推進委員会、青少年育成者連絡協議会、第五中のボランティア部、老人連合クラブの方も参加していただいた。<br>こども学校応援地域基金プロジェクトにより、他団体と協力することで、これまでより大きなことができたり、さらにたくさんの方と協力することができ、夏祭りにも300人以上の親子に参加していただいた。このたび長年のPTA活動の功績ということで、文部科学省から賞をいただくことができた。 | 以前から取組みについては知っていた。受賞という形で認められ、本当におめでとうということで、今後の活動において力になると思う。ますます広めていただきたい。 |
| 小学生の子どもが特別支援学級に在籍し、不登校になっている。適応指導教室への入室も考えたが、通常学級に在籍している児童が対象で利用できない。もっと柔軟に区別せずに受け入れてもらいたい。   | 情報を取り入れながら、公的機関も利用して、いい形を目指していただきたい。   |

| 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等   |
|---|---|
| 小学生の子どもが不登校になっている。フリースクールに通っているが、そこにも行けないこともあり、日中子どもだけを家に置いていることもある。近くに身内もおらず、自分も仕事をしているため、昼休みに様子を見に行くこともできず、不安だ。民生委員にお願いしたこともあったが、なかなか難しく、障害などの子どもに対応できる民生委員がいてくれたら、と思う。PTA活動は、気持ちが楽になることもあるし、子どもが在籍している間は、無理のない範囲で続けたい。 | 不登校というのは非常に苦しいことで、学校に行けないとフリースクールもあると思うが、いろんな方の手を借りて苦しい思いを少なくしてほしい。教育委員会にも相談してほしい。  |
| 自分が教員として働いていた時と今の先生では、いろいろな場面で差がある。不登校についても、両親が忙しくて「よんかけ」ができていないことや、先生も子どもと触れ合う時間が少ないことが、原因ではないかと考えている。   | 「よんかけ運動」は、価値観の多様化していった時期に、挨拶やマナーを教える必要性が出てきたことから始まった。学校だけではなく、家庭や社会との連携により教育の基本として現在につながっている。学校は非常に忙しくなってきたことから、子どもに関する様々な問題も出てきた。このような団体が、学校にできることで、連携が強くなり、基本的なことをできるような状態になってくるのではないかとと思う。 |
| 市役所で勤務していた頃に、土曜日の学校開放事業を受け持ち、地域の方の協力を得ながら、折り紙や読み聞かせの事業を行い、子どもたちが喜んでくれた印象を持った。   |   |
| こども学校応援地域基金プロジェクト、学校支援本部事業、子どもの居場所づくりなどは、先進的な取り組みだ。学校は先生だけでは成り立たず、保護者の協力や地域の応援がないと難しい時代だ。地域総がかりで子どもたちを育てていくことが大切だと思う。   |   |
| 幼保小中の連携について、いろいろな取組みがあることから、他の地域にはない中高特別支援の連携もまだまだ広げていけたらいいと思う。   |   |
| 地域の方に、平日の放課後や休日に小学校の子どもたちをサポートしていただいているが、ごくわずかの通信費や旅費しか当たっていかなく、ボランティアとして来ていただき申し訳ない思いがある。活発に活動している団体もあれば、そうではない団体もあり、組織を維持するのは難しい。こども学校応援地域基金プロジェクトやこども応援みらいカフェでお金の面の支援や周知を図りながら、末永く子どもたちを地域が支える支援が続けばいいと思う。             |   |
| こちらの小学校もボランティアの方に支えられているが、課題は高齢化や固定化だ。自分も将来的に交通指導員や交差点の除雪を手伝おうという気持ちがある。町内会の子ども会は休止中で、地域として子どもたちをどのように支えていけるか考えている。   |   |
| こども学校応援地域基金プロジェクトは素晴らしい制度だ。地域での活動において年々お金が足りなくなり、苦勞している。子どもたちを小さい時から見ていると、大きくなって声かけられる関係を作れる。   | どうやったら楽しみながら継続的に活動していくことができるのかが一番難しい。   |
| 近隣の小学校の体育館が土日も利用されていて、関心している。花壇やお花も学校やPTAによって整備され、関心している。帯広の森体育館は、3時以降は自主的な活動をサークルごとに行っていて、町村ではできないことだ。教職員の退職者は理論的に扱ったり、その年代に合わせた言葉遣いで指導することができ、素晴らしい。  | (ご意見のみ)   |
| 特別支援教室を何校か見学した。先生方にはよくやってもらっているが、情緒学級に一日いる子どもがいると、どうしても先生がかかりきりになってしまい、先生も足りていない。補助員がもっと必要だ。  | 帯広市は情緒学級の設置数が児童数の比率からみると多いことから、補助員も他都市からみると多い。ただ、人数だけでは把握できないところもあるので、校長の話も受けながら配置するなど、引き続き努力したい。   |
| 文部科学省から教員の削減方針が示されており、何度も嘆願書を出している。いろいろな家庭や子どもたちがいて、学校現場だけでは対応できない。子どもが育たない地域は死んだ街になってしまうので、帯広独自で、子どもにお金をかけてほしい。子どもには学校に通う権利があり、楽しく通える環境を作るため、教育委員会、こども課や青少年課などと連携していきたい。   | (ご意見のみ)   |
| 特別支援学級の先生も補助員も障害の特性を勉強して、子どもに関わってほしい。先生自身に健康上の問題がある場合もある。   | 教育委員会、学校現場の中で教員の質や力量を高め、授業改善を常にしていく、という努力が必要で、いろいろな機会や場所でも取り組んでいきたい。  |

**会場：啓北コミュニティセンター**

| 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等   |
|--|---|
| 北栄ネットワークでは、北栄小学校で放課後居場所づくりの活動を行い、おやじクラブ、卒業生、卒業生の親、生涯学習の方、交連協、青連協の方にご協力いただき、子どもまつりを開催している。子どもたちのためにPTAも地域も連携して、楽しみましょうということでバザーやゲームなど、いろいろな活動をしている。予算面では皆さんに負担もいただき、学校側にも活動に協力いただいている。ボランティアの人材が固定していることや高齢化していることは課題である。 | 後継者の育成、人材の固定化・高齢化は一番の問題で、明確な結論は出ていないが、ボランティア活動は子どもたちのためというは前提で、自分が楽しくてコミュニケーションがお互いに取れることが大切。活動の情報をたくさん公開して、興味関心をひいたり、いかに意味があることか、自分達が楽しいかということをや若い世代に意識的に引き継ぐことが重要だ。後継者の問題については、ボランティアというはしてあげることだけでは続かないものなので、子どもたちと接することの楽しさ、いろいろなことに関わると自分自身も得るものがたくさんある、などということを皆さんに伝えて引き継いでいっていただきたい。 |

| 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等   |
|--|---|
| 町内会子ども会の担当しており、登山や川遊びを実施している。子どもたちには必ず、感想発表もしてもらっている。子どもたちからは普段できない体験ができ楽しかった、来年もやってほしい、という声が多い。   | 長年子ども会の活動をしていただき、感謝する。レジャーだけでなく朝の会や帰りの会などルールを設けて行っていることはありがたく、今後も続けていただきたい。   |
| 盆踊りを地域の各団体と協力して開催しており、300人くらいの子もたち、保護者、地域の高齢者が集まった。地域の協賛金だけでは間に合わない、基金を増やして学校の活動に使えるようにしてほしい。  | こども学校応援地域基金プロジェクトは、市民の方からの寄附金を原資として、各団体に支援している。   |
| 移動図書館は子どもたちが学校に行っている間に回ってきて、利用できない。学校に移動図書館が来ることはできないか？  | 移動図書館「ナウマン号」は一定のスケジュールで回っていて、学校は入っていない(補足:農村地区の学校は巡回している)。「ぶっくる便」は一定の選書をした箱で、希望した学校に貸出ししている。<br><br>学校の図書室はボランティアが入って、本当によくなった。予算の関係で簡単に本を買うことはできないだろうが、たくさんある中からいろいろな本を見て、子どもたちが好きなものを選んで読むという行為は重要だと思う。 |
| 町内会の子ども会活動では、役員の方が手書きの子ども会だよりを100号以上出したり、活動の中で人の話を聴くこと、聴いたら感想を述べることを教えるなど、すばらしい活動をされている。<br>老人会についても、高齢の方は自分の生活体験からにじみ出る知恵というものを小中学生に伝えてほしい。自分も元気になるし、日本の伝統文化を伝える役割がある。<br>パークゴルフは、手軽なスポーツで、高齢者でも子どもでもできるので、地域活動として呼びかけてほしい。<br>近隣の中学校にお願いで、学校の活動状況を知る機会があればありがたい。町内会で回覧するなど考えているので、何らかの形で情報提供をお願いしたい。 |   |
| 中学校近隣の町内会には、学校通信を配布しているが、行き届いていない地区もあるようなので、確認の上、配布したいと思う。   |   |
| 見守り活動中に、中学生に「学校どう？」と声をかけたら、「中学校おもしろい」という返事があり、本当に楽しみにしている様子で、感心している。<br>また、横断歩道を走って渡るようなやんちゃだった子が、翌年は下級生を連れて登校するようになるなど、子どもたちの成長をものすごく感じる。<br>小学校2年生の子が、兄弟とケンカしてその場から動かなくなってしまった際に、たまたま見守りの様子を見に来た教頭先生が、その子の名前を呼んで、学校に連れて行ってくれたことに感心した。  | 地域の方や見守りの方に声をかけていただくというふれあいが、子どもたちの情緒面やいろいろな部分により影響を与えていると思うので、引き続き子どもたちや学校にも声をかけていただきたい。   |

平成28年度教育懇談会

第2部 教育全般に関する意見交換  
ご質問・ご意見 要旨一覧

教育環境

| 会場       | 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等  |
|----------|--|--|
| つつじが丘小   | 「子どもの貧困」という言葉を聞き、日本の将来が危ないと感じるが、どのような意見をお持ちか？  | 「子どもの貧困」については、帯広市の就学援助費の支給率は以前より下がっている。貧困と別な問題で、学校現場の先生に日常生活を注意していただき、必要に応じて関係機関と連絡を取っている状況。   |
| 大正トレセン   | 中学校野球部が全道大会に出場した際に、市から補助金を出してもらったが、補助額の見直しをお願いしたい。物価上昇や前泊が必要な事情、バスの手配など、負担が大きい。バスも夏休み中はスクールバスを利用できるようにしてほしい。 | 大会派遣補助については、一定の基準のもとに補助している。スクールバスの利用については、職員の関係もあり難しいほか、市のバスも現在台数を減らしている状況。いろいろなお話を伺い費用負担が大きいことも理解しているので、よりいい形でできるよう毎年考え、努力していきたい。  |
| 大正トレセン   | 図書室の本のうち、古い本で図書室に置けないものは処分できないのか？  | 廃棄せざるをえない本もあるかもしれないが、可能な限り修繕しながら利用してほしい。   |
| 大正トレセン   | スクールバスのロータリーが非常に傷んでいる。簡易的な補修では半年もたない状況で、市から補修代をもらっているが足りず、PTA会費から補填している。運転しにくい状態のため、きれいに改修してほしい。             | 要望として受ける。  |
| 大正トレセン   | 第七中学校のアイスホッケーリンクのフェンスについて、木製でかなり年季が入っているので、PTAで年1回修繕してもボロボロである。更新を考えてほしい。                                    | 要望として受ける。  |
| 川西研修センター | 川西地区の保育所・小中学校には、清流地区からの児童生徒が増えている。校舎は、1学年1クラスを前提としているので、2クラスに増えることを非常に心配している。                                | 教育委員会として児童数の推計を毎年行っているが、清流地区は、学校を希望選択制としていることから、児童数の伸びを推計しにくい部分がある。学校の適正規模の確保等に関する基本方針については、帯広市全体で考えなければならないことで、年明けに各地域で説明会を行う予定である。 |
| 川西研修センター | 川西小学校のトイレは和式が多いが、和式を使えない人もいるので、洋式化について考えてほしい。  | 和式トイレについては、全国的課題となっており、帯広市単独での更新や国の補助金を活用するなどして、洋式化率50%をめざして行っているところ。  |
| 川西研修センター | 児童生徒数の伸びは予測しにくいだろうが、川西中学校は教室が狭く、テストは特別教室で受けている状態で、教室の増設・新築をお願いする。子どもが増えることに反対しているのではなく、増えることに対応してほしい。        | この地区だけでみるのではなく、他の学校の状況をみて、帯広市全体で優先順位をつけて、十分に考えて整理したい。  |
| 川西研修センター | 児童生徒数の増加に伴う校舎の対応については、早急に対処してほしい。  | (ご意見のみ)  |
| 川西研修センター | 台風の影響で、校舎に雨漏りがあり、修理をお願いする。   | 雨漏りについては、現場を確認しながら対処する。  |
| 川西研修センター | ICT機器の整備状況を知りたい。   | ICT機器については、現在タブレットを中学校2校に、大型テレビを各学校のフロアごとに1台整備している。  |
| 川西研修センター | ICT機器の整備について、各自治体による教育格差があるのはよくない。   | (ご意見のみ)  |

学校運営

| 会場     | 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等  |
|--------|--|--|
| つつじが丘小 | 民生委員として活動し学校訪問などしている。以前、学校行事などへのご案内をいただいたことがあり、実際に学校訪問すると、勉強になることもあるし、先生との距離が近くなる、いろいろな意見を言いやすくなる、ということがあったので、今後もそういう機会があれば声をかけてほしい。 | 民生委員への情報提供については、他の地域でも同様の意見があることから、内容によって方法は変わると思うが、今後も学校でそういった意識を持ってもらうように、学校側に伝える。   |
| つつじが丘小 | 教員の育成・研修について、若手教員をしっかり育成し、教育委員会は現場に向かい教職員と交流を深めてほしい。   | 教員の育成については、若手の教職員に技術や思いを継承していけるように、研修なども活用しながら、引き続き努力する。<br><br>教員の育成について、経験のある先生と若手の先生が、日常的に話しやすい状態で、指導がスムーズに行われていると学校訪問などの際に感じる。指導主事が具体的な指導を行っていることも一因となり、子どもの学力の向上にもつながっている。運動能力を高めるために、学校一実践を行い取り組んでいるなど、研修体制はできていると感じる。 |

| 会場               | 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等   |
|------------------|---|---|
| 川西<br>研修<br>センター | <p>学校の体罰や不祥事の際に感じたことだが、児童生徒が先生から加害を受けたときに速やかに相談できる窓口を整えて、保護者に周知することは当然と思うが、帯広市ではどのように取り組んでいるのか？</p> <p>教育委員会から学校側に相談体制を整えるよう指示しているのか？平成25年に文部科学省から通知が出ており、教育委員会や学校は子どもや保護者からの体罰についての相談窓口体制を整えて、保護者に周知する必要があるとしている。市議会の委員会でも文科省の通達直後に同様の質問があり、当時の部長が相談窓口の整備を考えていると答弁しているが、何ら策が講じられてなく、子どもにも保護者にも周知されていないことは問題と思う。</p> <p>最終的に子どもや保護者に周知し活用できる状態になっていないと、意味がないことなので、早急な改善を要望する。広島県の小中学校では、平成21年に教育委員会と学校に相談窓口を設置し、保護者にも文書で通知している。セクハラなど学校の危機管理は、想定することから始まると思うので、このような体制を早くつくってほしい。</p> | <p>体罰はあってはならないことだが、現時点では根絶されていないのが事実で、学校現場と協力して再発防止に引き続き努力する。不祥事の件については、大変申し訳ないことで、被害に遭われた児童、周囲の児童に将来的に傷が残らないよう、カウンセラー等を派遣しながら、対応したい。被害窓口ということではないが、学校教育指導室に相談窓口を設けているので、電話や来庁して活用してほしい。</p> <p>文科省からの通知に基づき、各学校で体制も整えているが、保護者への周知については、承知していない。</p>  |
| 川西<br>研修<br>センター | <p>体罰はいけないと言われているのに、どうして行われるのか？学校現場に余裕がないのではないのか？</p>   | <p>体罰は犯罪で、教員が生徒を下に見ているのかもしれない。現実に行き過ぎたことが起こるのは、指導が不十分な部分もあるため、校長会を通じ認識を新たにしていく。教員が多忙であることは体罰の背景にないとは言えないが、別の問題と捉えている。</p> <p>相手が大人や自分より身体が大きい人だったら、しないと思う。先生側にある種の思いがあるのだと思う。人間だから頭にくることやいろいろなことは当然あるが、教員だということをわきまえていく力が必要だ。川西地区は教育に対し熱心で、すばらしい取り組みがたくさんあると実感した。日々子どもたちと接しているからこそ、いろいろなお話を聴くことができたと感謝している。</p> |
| 啓北<br>コミセン       | <p>近隣にある小学校の公開授業を12年間見ている。授業時間はほとんど先生が話しているような授業、テストをしても何人かのわかる子ども以外は相手にしていないような進め方、保護者が聞いていてもわからない授業内容など、指導力の低下を感じる。</p>   | <p>考える力、学ぶ力をつけていくことが先生の役割であり、改善すべきところは改善しなければならぬので、学校現場にそういう意見があったことを伝える。</p>   |
| 啓北<br>コミセン       | <p>教員の指導力の低下というが、先生の責任だけかと疑問に思う。親が子どもの前で先生の悪口を言うと、子どもは先生との信頼関係を損ない勉強嫌いになる、と教えられた。親は自分の子どもと相性が合えばいい先生と思うが、そうではない。親ができることは、いろいろな人から学校や学力についての情報を収集することで、PTA活動や地域活動が大事になるし、学校の広報誌も見てほしい。</p>   | <p>教員がひたすら授業するより、生徒の主体的な学習行動の方が、意欲関心が増す。教員は自分の満足のために授業をするのではなく、教えられている側がどれだけ理解できるかがポイントで、アクティブラーニングという形で、子どもの課題解決能力を上げたり、いかに主体的に好奇心をもっていけるようにするかということと教師の指導力が問われるのだと思う。</p>   |

## 教育内容

| 会場         | 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等   |
|------------|--|---|
| つつじ<br>が丘小 | <p>ある中学校の生徒の交通マナーがよく、感激している。自転車で信号を渡る時に自転車から降りて、信号をよく確認している。他の学校も見習ってほしい。</p>  | (ご意見のみ)   |
| 大正<br>トレセン | <p>PTA会費は、生徒数に応じて集めるが、生徒数が少なくてもかかるものがある。そこを考えてほしい。</p>   | <p>PTA活動は任意であり、市から直接的に補助しているものはない。学校への消耗品や備品購入の予算は、人数割りの部分と固定経費とがあるが、長年の一定のルールを元に行っている。</p>   |
| 大正<br>トレセン | <p>インターネット・スマホの安全な利用について、対策など考えているか？</p>   | <p>中学校では、入学式後にネットトラブルの対処について保護者説明を行っており、PTA連合会でも年に1回行っている。教育委員会でもネットパトロールをしているが、学校ではスマホなどは使用しないので、各家庭で使用するルールを作る、アクセスできないよう防御する、などの対策を家庭で考えてほしい。便利な反面トラブルとなる恐れがあることを認識して使ってほしい。</p> |
| 啓北<br>コミセン | <p>見守りで立っていると、挨拶の上手な子どもが多く、保護者や学校の先生達の指導のおかげと感じる。父親を亡くし母親に育てられている子どもで、部活も勉強もしっかり頑張っているという立派な子もいる。学校の先生方も愛情をもって一生懸命育てていると感じる。</p> | (ご意見のみ)   |
| 啓北<br>コミセン | <p>帯広市の学力について教えてほしい。</p>   | <p>学力については、新聞報道のとおり、中学校は全道を超えたが、小学校は差は縮まったものの全道を下回っている。</p>   |

## 学校・家庭・地域の連携

| 会場     | 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等   |
|--------|---|---|
| つつじが丘小 | 子ども学校応援地域基金プロジェクトに何団体から応募があったのか？  | 4団体からあった。   |
| 豊成小学校  | 懇談会に出席して、改めて学校が地域の方に支えてもらっていること、愛着を持ってもらっていることを感じた。見守りパトロールの方も、子どもの名前を覚えていて、家庭環境も知っていて、いろいろな話をしているなど、子どもたちを非常にかわいがってくれている。学校に戻って、PTAの方にもお話ししていきたい。                | (ご意見のみ)   |
| 啓北コミセン | 以前住んでいた他の市では、学校のそばに児童館があり、放課後遊びに行っただけで先生が見てくれた。啓北地区にはそういう施設がなく、暗くなるまで塾など行く場所もなく出歩いて、宿題もやってなく、授業にも遅れていく子どももいる。空き教室を開放して授業の復習や宿題の手伝い、家庭学習の指導をしてあげたら、そういう子どもにもいいと思う。 | 鍵っ子対策として昭和40年にできた学童が、子どもの安全を含めて見守る施設として設置している。学童は小学校6年生まで入れるようになった。暗い時間に一人で歩いている子どもを見かけたら、声をかけていただけるとありがたい。 |
| 啓北コミセン | 啓北小学校の広報誌を作成している。町内会でも回覧されているが、発行にはすごくお金がかかることから、読んでもらえる方法を考え、テーマを決めることになった。小学校を卒業して見えてきたことを、小学生の保護者に伝えたいと思っている。メンバーも毎年増やして、なんとか続いているところで、「よかった」という声があるうちは、続けたい。  | (ご意見のみ)   |

## いじめ・不登校

| 会場     | 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等  |
|--------|---|--|
| つつじが丘小 | 帯広市の教育基本計画について、「いじめ・不登校・非行対策の実施」は、生徒間だけでなく、教員間のいじめも含めて考えてほしい。教職員が充実していないと生徒の指導にも力が入らない。 | いじめについては、どこでも起こりうることであり、小さいうちに早く対処することが大事だと考えることから、学校内外やその他気が付いた時に早期に対処し、大きな事態にならないよう努力する。 |
| 大正トレセン | いじめ問題について   | 全道はいじめの件数は5,800件ほど。いじめは小さいうちに止める、なくすという取り組みをしているが、現実としては報告されている。                           |
| 啓北コミセン | 帯広市のいじめについて教えてほしい。  | いじめについては、各学校で起きるということを前提に取り組みをしている。小さいうちに大事にならないように、学校現場で努力している。                           |

## 学校給食・食育

| 会場     | 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等   |
|--------|---|---|
| つつじが丘小 | 食育について、地場産食材の利用は素晴らしいことで、確実に実行してほしい。  | 食育については、新学校給食センターができ、地場産野菜の使用量も増えた。肉その他もできるだけ十勝帯広産にしている。パン・麺類は帯広産小麦を使用している。   |
| 大正トレセン | 給食がおいしくない、と子どもが言っている。何度か給食試食会にも行ったが、スープの中にたくさんの野菜が刻まれていて量としては取れているが、見た目がよくないし、噛む力も必要なので、工夫してほしい。以前アンケートにも書いたが、改善されていない。     | 平成27年4月に新学校給食センターが稼動し、それまでスープに入っていた野菜が、和え物として提供されるようになった。おいしくないと感じるのは、野菜が苦手な子どもが多いことも影響していると感じる。いろいろな味付けで食べていただきたいという思いで作っている。        |
| 大正トレセン | 給食は前の調理場の方が味はよかったと聞いている。子どもたちは、ほとんど食べられないものがあったり、家と味付けが違うと言っている。放課後は少年団活動もあり、食べられないとお腹もすくので、もう少しおいしくしてほしい。保護者向けに試食会をしてはどうか。 | 野菜が多くなったとか、味付けが薄味になったということが影響しているかもしれない。家庭と違う部分はあると思うが、食育ということから万遍なく栄養を取れるよう考えて出している。事前に申込みをすれば、学校でも給食の試食をしていただけるので、機会があれば味わっていただきたい。 |

## 通学路・不審者対策・通学支援

| 会場       | 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等               |
|----------|---|---------------------------|
| 川西研修センター | 台風の影響で、通学路が通行止めになったことがあった。倒れそうな木もあるということなので、早急に伐採計画を進めてほしい。                         | 危険な箇所については、現場を確認しながら対処する。 |
| 川西研修センター | 川西中学校に通う息子は、往復30キロの道のりを自転車で通学しているが、歩道の雑草がひどく、自転車に引っかかって転んだりしている。草を刈って少しでもきれいにしてほしい。 | 道路維持課に要望を伝える。             |
| 川西研修センター | 火葬場から高速道路の入口までの道路が通学路になっているが、道路幅が狭く、交通量が増え危険なので、教育委員会から伝えてほしい。                      | 道路維持課に要望を伝える。             |

## 教育委員会

| 会場    | 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等  |
|-------|---|--|
| 豊成小学校 | 配布資料について、教育委員会の事業や基本理念などを一つの資料にまとめてあり、わかりやすかった。                               | (ご意見のみ)  |
| 図書館   | 教育懇談会の参加者をみると、教員や役所の職員が多く、一般の参加者が少ない。せつかく地域の意見を聞ける場を設けているのに、これで地域の活動が活発になるのか。 | チラシの配布など努力しているところだが、皆さん忙しいとか雪が降ったりとか、都合もあるのかと思う。本日は休日に設定しているところである。教育懇談会と同時期に市長の地区懇談会や市議会の市民意見交換会もあることから、その日程も考慮し、できるだけ皆さんが集まれるよう工夫していきたい。 |
| 図書館   | 一番子どもたちのことを知っているのは、学級担任なので、教育委員会は校長会や教頭会だけでなく、現場の先生の生の声を聞く機会も作っていただきたい。       | たくさんの人材で施設や学校が成り立っている。職員の声を日々きちんと聞き、より良いものを目指すため、気を配りながら教育行政を進めたい。   |

## 幼保小中の連携

| 会場       | 参加者からのご質問・ご意見                              | 教育委員会からの回答等   |
|----------|--|---|
| 川西研修センター | 川西地区は保育所もいっぱい、保育所と学童を含めて、小中学校を一貫してはどうかと思う。 | 小中連携については、区切りがあることで成長を促すという考え方もあるし、人口減社会で公共施設を維持していくことは難しいことだし、いろいろな意見を大事にして考えたい。 |

## 生涯学習

| 会場     | 参加者からのご質問・ご意見                                      | 教育委員会からの回答等                        |
|--------|--|------------------------------------|
| 大正トレセン | おびひろ動物園ゆめ基金のPR方法と募金の集め方を知りたい。どンドンアピールすれば寄附が集まるのでは？ | ホームページでアクセスできるほか、広報おびひろでもお知らせしている。 |

## 学童

| 会場     | 参加者からのご質問・ご意見   | 教育委員会からの回答等                                       |
|--------|---|---|
| 啓北コミセン | 入学式の翌日から1週間くらいは午前授業だったが、学童は午後から3時間の勤務がないと入ることができなく、2時くらいに終わる仕事なので、預けることもできず、鍵を持たせたということがあった。短時間でも預かってくれると助かる。 | 就労時間による条件はあると思うが、学童の担当課に伝える。(補足:一時保育の利用ができる場合もある) |

## その他

| 会場     | 参加者からのご質問・ご意見  | 教育委員会からの回答等  |
|--------|--|--|
| 大正トレセン | 海外の姉妹都市との子どもの交流事業はあるか？   | 小中学生はないが、南商業高校は年に1回ある。(補足:市内在住高校生を対象に、中国朝陽市・米国スワード市との高校生相互派遣事業を各国4名程度行っている。) |
| 豊成小学校  | 町内会を充実させるために、何か活動例や改善策があれば教えてほしい。  | 町内会の加入率が全国的に低下しており、工夫している市町村もあるようだが、課題としては皆さんと同じ認識をしている。                     |
| 豊成小学校  | 町内会の加入率が低下していることについては、町内会に入るよう働きかけをすることも大切だ。入り方がわからない、入りにくいということもあると思う。マンションなど町内会の会費を家賃と合わせて集めるなど必要ではないか？  | 町内会活動は大変な時代だ。高齢者は町内会や隣近所の助けや見守りが必要で、そういう意味でも町内会で隣家との関わりをもつことは大事だ。            |
| 豊成小学校  | 町内会活動は、何をしているかわからない、面倒だという人もいるが、街路灯の設置を町内会で行っているなど、生活に必要なことなので、今後もいろいろな活動に携わっていきたい。  | (ご意見のみ)  |
| 図書館    | 放課後居場所づくりに、特別支援学級の子どものも以前は参加していたが、個人情報があり、子ども同士でトラブルになるため、結局参加ができなくなった。そういう子どもをみれる方がいると受け入れられるのだが。寺子屋教室をしているが、教員を退職した方に指導者になってもらえると、年齢に合わせた指導もでき、非常にありがたい。 | 退職校長会という団体があり、冬季休業中などに学習サポートなどいろいろな活動をしているので、相談してみてもいいか。(学校関係者回答)            |